



# 八鹿青溪



貫徹 慎独 創造

養父市立八鹿青溪中学校 校報  
(令和7年2月28日) 第34号



学校教育目標「ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成」  
八鹿青溪中 HP

## 八鹿高等学校「八高 学びの祭典」

2月10日(月)、八鹿高等学校の「八高 学びの祭典」に参加させていただきました。この行事は八鹿高等学校の1・2年生が日頃の“探究型学習”の成果を全体会(体育館)や分科会(各教室)で発表しあうものです。個々の生徒の興味関心に基づいたテーマは、(例)○「タイピングの正確性と速度の維持と向上」○「AI で災害予測は可能なのか」○「食べ物の呼び方がなぜ地域によって異なるのか」○「動物の心理と人に与える影響」○「効率の良い除草法」○「『人生100年時代』は幸せか」・・・などと多岐に渡り、若者らしい着眼点に感心しながら、ひとつひとつの発表に耳を傾けました。また、今年度新設の文理探究科での学習の様子やオーストラリアでの短期語学研修の様子を発表する生徒もあり、八鹿高等学校のさまざまな取り組みがよく伝わってきました。閉会行事では、山本宏治校長先生より、「個を活かし、公に生きる」(それぞれの個性を光らせることが世の中の発展につながる)というまとめのお言葉があり、「八高 学びの祭典」のめざしているものが何であるかをご教示いただきました。なお、この行事は2月8日(土)開催予定で計画され、中学生にも案内をいただいております。残念ながら大雪警報発令に伴う延期で中学生の参加は叶いませんでしたが、本校からも参加する予定にしていた生徒が居たようで嬉しく思いました。



## 3年生奉仕作業

2月21日(金)、中学校卒業を前にした3年生が奉仕作業をしてくださいました。内容は、校舎内随所の徹底清掃。雪が降り、凍てつくような寒さの中、非常階段、体育館の窓、小佐川花壇前、生徒玄関、サイエンステラス、クラフトテラス、ピロティ、換気扇(特別教室)、地下駐車場・慎独の道入口、学年スペース(ワックスがけ)をみんなで力を合わせて美しくしてくれました。“立つ鳥、跡を濁さず”と言うように、3年生(卒業生)は慣れ親しんだ八鹿青溪中学校の校舎を綺麗な状態で卒業していきます。



## 公立高等学校一般学力検査に向けて

世間では受験シーズン真っ只中です。八鹿青溪中学校の3年生も自らの進路実現のために奮闘中ですが、3月12日(水)には公立高等学校一般学力検査が予定されており、3年生や教職員の戦いはまだまだ続きます。かねてから、「受験(受検)は個人戦ではなく団体戦のつもりで頑張ろう!」「受験(受検)生とよばれるのは長い人生の間にわずか数回しかないので頑張ろう!」などと3年生に対して話してきましたが、最後の最後までみんなで励まし合いながら、素晴らしい“15歳の春”を迎えてほしいと祈っています。



## 第3回学校運営協議会

2月13日(木)に令和6年度第3回学校運営協議会を開催しました。内容は以下のとおりですが、八鹿青溪中学校の教育活動や生徒の様子について活発なご意見やご感想をいただきました。今後、各委員の皆様による学校関係者評価をご提出いただき、最終的には3月末に、今年度の学校評価を八鹿青溪中学校HPに掲載する予定です。

### (1) 開会

- ・会長あいさつ ・校長あいさつ ・日程説明

### (2) 授業参観(5校時授業)

※全学年の授業風景を約30分程度ご覧いただきました。

### (3) 協議

#### ①令和6年度後期経過報告(校長)

※画像を使って10月以降の学校の様子を紹介しました。

#### ②令和6年度事業報告(教頭)

※今年度の学校運営協議会の事業について紙面で振り返りました。

#### ③今年度の学校評価について説明(校長)

※保護者アンケート、生徒アンケート、教職員学校評価についての考察を行いました。

※学校運営協議会の委員の皆様による学校評価のご提出を依頼しました。

#### ④次年度に向けて(令和7年度年間行事計画等 校長)

※令和7年度の学校行事予定について簡単に説明しました。

### (4) 諸連絡・今後の予定について

- 令和7年度第1回学校運営協議会 令和7年4月22日(火)
- 令和7年度の活動について
- 令和7年度入学式 令和7年4月8日(火)14:00開式
- 次年度の委員について

### (5) 閉会

## 3月の「草庵先生の教え」

3月の草庵先生の教えは「志は高遠を期し、功は切近を貴ぶ」。  
“志は大きく高く持ち、それを実現するための実践は身近なことからが良い。志が高くないとすぐに満足してしまうし、また、実践は身近なことではないと長続きするものではない。小さなことからコツコツと”。という意味であると解釈されます。

さて、3年生にとっては、これが最後の「草庵先生の教え」になりますが、中学校卒業後も心に留めておいてほしい言葉です。もちろん、私たち大人も日々意識して生活していきます。

